ID 氏名 病名 パーキンソン病 症状 年 月 Н 2日目 3日日以降 退院療養計画書 1日日 16~18日日 入院病日 経過 入院日 退院日 退院日(予定) 日以降 月 月 Н 月  $\Box$ 月 月 月日  $\Box$ Н 適切な援助のもと、安全安楽な入院生活を送ることができる。 退院後の治療計画 退院後の生活の注意点が分かる。 目標 転倒転落を起こさず、過ごすことができる。 リハビリテーション、 ・噛むことや飲み込みの状態を評価し、食形態を変更することがあります。 薬物療法を継続して 食事 ください。 食形態は相談しながら変更することができます。 歩行の様子を見ながら、制限をお願いする場合があります。 安静度 必要に応じて、トイレの移動などをお手伝いします。 退院後の療養上の留意点 排泄 転倒や誤嚥に注意して シャワー浴ができます。清拭タオルをお配りします。 ください。 清潔 • 介助が必要な場合は、週に1回介助入浴を行います。 ・レントゲン X-ray • 採血 • 心理検査 • 心雷図 検査 • 自律神経機能検査 ・ RI検査(脳血流を調べる検査) 尿検査 治療薬を調整することがあります。 保険医療サービスまたは 治療 福祉サービス 薬剤師より薬についての説明があります。 □ 介護保険 リハビリ 別紙リハビリテーション実施計画書を作成して説明します。 テーション □ 指定難病 □ その他( ・パーキンソン病症状日誌を記載します。記載ができない場合は代行します。/ ・次回受診日を説明します。 指導 毎日、血圧・体温・酸素飽和度測定をします。 説明 (病状によっては特別な栄養管理を行う場合があります。) 特別な栄養管理の必要性 有・(無) その他

注)状態に応じて予定が変更となる場合があります。

入院前の生活について

お伺いします。

備考

主治医 主

主治医署名

40歳以上の方は別紙≪総合機能評価表≫を用いて、総合的な機能評価を行う場合があります。

※主治医の押印がある場合は不要

主治医以外の担当者

看護師

薬剤師

栄養士

